生　涯　学　習

施策展開の方向及び主要事業……37
啓発事業……39
生涯学習センター……39
青少年教育……40
成人教育……41
南部青少年センター……42
公民館……44
図書館……46
文化財……47
埋蔵文化財調査センター……49
千葉市の文化財一覧……51
加曽利貝塚博物館……54
郷土博物館……56
千葉市科学館……57

生　涯　学　習

■施策展開の方向及び主要事業

1　学習成果が「生きる」地域づくりを進める

生涯学習振興

市民の学習活動を支援するため、生涯学習推進計画に基づき、生涯学習活動を推進する。

社会教育振興

市民の自主的･自発的な学習活動を支援するため、多様な学習ニーズや現代的な課題に対応した施策を展開する。

放課後子ども教室推進（再掲）

子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを進めるため、地域の参画を得て「放課後子ども教室」を全ての小学校で実施する。

2　市民生活や地域社会の課題を「学ぶ」機会を提供する

生涯学習センター管理運営

市民の学習活動を総合的に支援するため、生涯学習の拠点となる生涯学習センターの管理運営を行う。

（1）生涯学習情報提供・学習相談の充実
（2）生涯学習事業の推進
（3）生涯学習ボランティアの育成・支援
（4）メディア学習の推進

公民館管理運営

社会教育を含めた生涯学習の拠点施設として､地域住民の多様化する学習ニーズに対応した学習機会を提供することにより、市民サービスの向上に努める。

（1）各種学級・講座
　家庭教育、少年教育、成人教育等
（2）図書室運営
（3）公民館維持管理

南部青少年センター管理運営

青少年が主体的に自己の技能や教養の向上を図ることができる場や機会を提供するとともに､多様な主体に学習成果の発表の場を提供し、学習を通じた異世代間のふれあいや交流を支援する。

（1）各種講座開催
（2）施設維持管理

3　学びを「支える」環境づくりを進める

特別教室開放

土・日曜日に小学校の特別教室を地域活動、文化活動、生涯学習などの場として区民を対象に開放する。

・瑞穂小学校（花見川区）
・扇田小学校（緑区）
・海浜打瀬小学校（美浜区）
・緑町小学校（稲毛区）
・星久喜小学校（中央区）
・都賀の台小学校（若葉区）

公民館改築

老朽化の激しい犢橋公民館の改築を行う（平成 26 年度は基本設計。平成 30 年度供用開始予定)。

公民館改修

幕張公民館の冷暖房設備改修工事、葛城・稲浜公民館の屋根防水改修工事等を行い、老朽化が進んでいる公民館の施設環境の充実に努める。

図書館管理運営

図書資料の整備を進め、身近で頼れる市民の図書館として充実した図書館サービスを提供するとともに、子ども読書活動推進計画に基づく子ども読書活動の推進、良好な読書環境を提供するため花見川区瑞穂地区における図書館機能の整備に向けた基本・実施設計を行う。

（1）図書資料整備
（2）図書館維持管理
（3）図書館システムの企画、運用及び管理
（4）子ども読書活動の推進
（5）図書館の施設の整備

科学館管理運営

科学に関する知識の普及・啓発と青少年の創造力の育成を図り、市民文化の発展に資するため、参加体験型科学館の管理運営、ボランティア育成などを行う。

科学フェスタ

市民が日常生活の中で科学・技術を身近に感じることができる総合的な科学の祭典として、科学フェスタを開催する。

未来の科学者育成プログラム

未来の科学者を目指す生徒を育成するために、科学に興味がある中学生・高校生に対し未来の科学者育成プログラムを、科学に興味がある小学生に対し未来の科学者育成プログラムジュニア講座を提供する。

博物館管理運営

貴重な文化財などの資料を収集、保管、展示するとともに、資料に関する調査研究を行う。

（1）加曽利貝塚博物館管理運営
（2）郷土博物館管理運営

博物館整備

国の特別史跡指定を目指す加曽利貝塚の環境整備を行うとともに、老朽化が進んでいる博物館設備の改修などを行う。

市史編さん

史料を基に千葉市の歴史を明らかにし、市民の郷土理解を深め、本市の歴史を後世に伝える。特に失われつつある近現代史料の収集調査を重点的に行う。

（1）千葉市関係史料の調査・収集・整理
　「千葉市史 資料編　近現代」史料収集調査
（2）普及活動（市史研究講座・古文書講座ほか）

埋蔵文化財調査センター関係

埋蔵文化財の調査、保管及びその活用を図るため、埋蔵文化財調査センターの管理運営を行う。

（1）緊急発掘調査
（2）埋蔵文化財調査センターの管理運営

加曽利貝塚出土資料再整理

加曽利貝塚の国の特別史跡への指定申請に向け、出土資料の再整理を実施する。

■啓発事業

生涯学習情報誌「ちばまなびの森」を発行し、特集記事、イベント情報等を掲載し、生涯学習を総合的にＰＲする。

・年３回発行（７月、11 月、３月）

・公民館、図書館、コミュニティセンター、区役所などにおいて、市民に配布。ホームページでも閲覧可能。

■生涯学習センター

生涯学習センターは、市民の主体的で創造的な学習活動を支援するため、関係機関との連携を強化するとともに、調査研究機能や学習プログラムの充実、学習情報の提供、相談体制の整備・充実など、生涯学習を総合的に推進する事業を展開している。

１　事業の概要

先進的な学習プログラムを実施し、地域から学ぶ実践的な学習講座を展開する。

また、ボランティア活動等を支援するための体験的な学習講座を実施している。

２　施設の利用状況（平成 26 年度）

（１）中央図書館･生涯学習センター入館者数･･･････････････ 1,133,898 人

（２）駐車場利用台数･･･････････････････････････････････････ 192,990 台

（３）施設利用件数(施設開館日数 347 日･18 施設)･･･････････ 12,709 件

（４）マルチメディア体験施設使用状況･･･････････････････････ 21,269 人

３　生涯学習相談件数（平成 26 年度）･･･････････････････････ 2,335 件

４　視聴覚教育機器・ソフト貸出事業（平成 26 年度）

（１）16㎜映写機ほか９機種･･･････････････････････････････ 772 件

（２）16㎜フィルムほか２種･･･････････････････････････････ 454 本

（３）利用相談件数･･･････････････････････････････････････ 161 件

５　学習事業（平成 26 年度）

（１）指定管理事業

事　業　分　類	実　施　事　業	延受講者数(人)
ちばカレッジ･地域学推進事業	ちばを喰らう、千葉市遺跡発表会　ほか	1,538
現代的課題学習	シニアのためのわかがえり塾、女性のためのキャリアプランニングセミナー、わらべうたと絵本の会、子どもチャレンジ教室 ほか	3,680
指導者の養成	生涯学習指導者養成研修　基礎研修・実践研修、学校地域支援者研修、生涯学習コーディネーター養成研修、公民館職員研修、スタッフ研修 ほか	568
学習ボランティア活動の支援	施設ボランティア養成研修、まなびサポーターによる講座　ほか	1,332
ボランティアセンターの運営	生涯学習ボランティア登録説明会　ほか	43
研修生等の受け入れ	社会体験派遣研修、中学生職場体験学習、インターンシップ　ほか	80
パソコン講座	初・中・上級パソコン講座、ボランティアによる講座　ほか	6,636
視聴覚事業	16 ミリ映写機操作講習会、木曜名画座ほか	9,646
メディアリテラシーに関する学習	おたくは大丈夫？子どもとインターネット　ほか	25
情報端末機器に関する学習	android スマートフォン安心講座　ほか	124
市民の学習活動への支援	市民自主企画講座	538
学習成果の発表の機会の確保	まなびフェスタ 2014、やすらぎのアトリウムコンサート　ほか	5,058

（2）自主事業

事　業　分　類	実　施　事　業	延受講者数(人)
市民の学習ニーズに合わせた講座等の実施	親子でエコ・クッキング、よくわかる乳がん講座、市内大学公開講座、生涯学習アカデミーちば、埋蔵文化財に関する講座　　ほか	1,641
施設をＰＲするために有効なイベントの開催	ニューフィル千葉のピアノトリオとソプラノ歌手による室内楽「早春に贈るホッとコンサート」、第 23 回ちば音楽コンクール、著名人等による講演会・イベント　　ほか	815
生涯学習の発信拠点としての展示等の開催	千葉公園紹介展示、写真で見る千葉市の遺跡展、埋蔵文化財ロビー巡回展、「ちば」に関する地域学展示　　ほか	－

６　視聴覚ライブラリー

視聴覚メディア（マルチメディア機器）を活用した効果的な学習・教育活動を推進、奨励するため、小・中学校、公民館、社会教育団体等に対して、視聴覚教材、機材の貸出、16 ミリ映写機操作講習会を実施した。

また、視聴覚教材を計画的に購入し、ライブラリーの充実を図った。

視聴覚教材・機材保有状況（平成 27 年 4 月現在）

教材	16 ミリ映画フィルム	1,024 本
	８ミリ映画フィルム	101 本
	ビデオソフト（ＶＨＳ）	1,020 本
	スライド	42 組
	ＤＶＤ	278 本
機材	16 ミリ映写機	5 台
	ＯＨＰ	2 台
	ＯＨＣ	1 台
	スクリーン	8 本
	ビデオプロジェクター	8 台
	スライドプロジェクター	1 台
	ビデオデッキ	3 台
	ＤＶＤデッキ	7 台
	ダブルデッキ	2 台
	暗幕	10 枚
	外部スピーカー	11 台

■青少年教育

南部青少年センター及び各地区の公民館等を拠点として、次代を担う少年少女が、心身ともに健全で創造性豊かに成長することを目的として、各種の青少年教育事業を実施している。

○事業一覧（平成 26 年度）

事　業　名	事業数	開催期間	内　容	会　場
少年少女科学クラブ	1	６月～３月	基礎工作、生活、学習、安全をテーマとしたアイデア工作等	科学館
チバシティアストロクラブ	1	６月～２月	星や宇宙に親しむクラブ活動	科学館　他
少年教室・講座	264	４月～３月	子どもチャレンジ広場、子ども科学教室　他	南部青少年センター 南部児童文化センター 公民館　他
親子教室・親と子のつどい	31	４月～３月	親子体験学習、親子料理教室、親子陶芸教室　他	南部青少年センター 南部児童文化センター 公民館　他

※南部児童文化センターは、平成 27 年３月 31 日をもって閉所した。

■成人教育

1　家庭教育学級、成人大学、成人教育講座等（平成 26 年度）

明日の豊かな市民生活のために、成人を対象とした幅広い学習の場を設け、自主的な共同学習の機会を提供している。

事　業　名	事業数	開催期間	内　　容	会　場
家庭教育学級等	78	通年	それぞれの時期、立場にある親を対象とし、家庭教育の意義、家庭・親のあり方、子どもの発達段階の理解、望ましい子育て等を学習し、家庭教育の振興に資する。	公民館
子育て親育ち講座等 ※文部科学省補助事業	9	9月～2月	子育てやしつけなどの家庭教育のあり方について考える機会とする。保育所、小学校、公民館において実施。	保育所 小学校 公民館
成人教室、講座等	264	通年	現代的課題に関する講座、ボランティア養成、パソコン講座、郷土史講座、リサイクル講座　他	公民館 南部児童文化センター　他
女性教室、講座等	26	通年	女性のためのセミナー、アクセサリー教室　他	公民館
高齢者教室、講座等	58	通年	高齢者携帯電話活用術、介護予防講座　他	公民館
コンサート、講演会等	51	通年	地域交流講座、ふれあいコンサート 他	公民館

2　社会教育関係団体･グループ育成

社会教育関係団体・グループの各種活動の充実を図るため、求めに応じて指導助言にあたるとともに育成に努めている。

（1）社会教育関係団体一覧（平成 27 年 4 月 1 日現在）

区　分	団　　体　　名	団体数	会員数
青年団体	千葉市青年協議会	10	260
女性団体	千葉市地域婦人団体連絡協議会	5	120
	千葉市女性グループ連絡会	13	174
	千葉市女性団体連絡会	7	291
成人団体	千葉市ＰＴＡ連絡協議会	110	45,860
	千葉市高齢者学習団体連絡協議会	12	130
	千葉市ボランティアグループ連絡会	4	51
	公民館クラブ・サークル	2,090	25,609
	千葉ユネスコ協会	1	115

（2）育成事業一覧（平成 26 年度）

区　分	事　業　区　分	事業数	内　　容
青年団体	青年協議会育成事業	4	親子三代夏祭り協力、成人を祝う会　等
成人団体	千葉市ＰＴＡ連絡協議会事業	6	ブロック研修会、ＰＴＡ学級、広報担当者講習会、広報コンクール、広報紙発行、各種研修会派遣
	高齢者学習団体連絡協議会事業	4	学習発表会　等
	公民館クラブ･サークル等の連絡会事業	43	公民館文化祭
	公民館クラブ・サークル育成事業	21	サークルリーダー研修会　等
	千葉ユネスコ協会事業	3	七夕祭り、太巻き祭りずし研修会、ひな祭り

■南部青少年センター

青少年が、主体的に自らの教養や技能を高めるとともに、学習や文化活動等を通して仲間づくりのできる場や機会の提供に努めており、地域の自治・社会福祉活動の場としても幅広く活用されている。

また、市民相互のふれあいによる学習活動を通じた新たな可能性と価値を生み出す地域づくりに寄与するため、学習成果の発表と異世代交流の場や機会を積極的に提供し、次代を担う青少年の健全育成を支援している。

１　運営方針

（１）社会の変化や青少年のニーズに応える創意工夫に満ちた事業の企画と実践に努める。特に、第４次千葉市生涯学習推進計画の施策展開の方向性を踏まえた青少年センターに求められる施設機能の充実に向け、効果的な事業展開を進める

①セルフモニタリング等により利用者ニーズを的確に把握し、事業内容や実施方法の積極的な見直しを行う。

②異年齢集団による活動や異世代の交流活動を支援し、青少年の健全育成を図る。

③青少年・市民等の生涯学習活動の成果発表の場や機会を積極的に提供する。

④優れた講師の活用とサークル活動の支援と育成を図る。

⑤青少年育成に係る他機関やＮＰＯ等の市民団体と連携した事業の企画・実践により、事業の質的向上を図る。

⑥社会福祉協議会、自治会、子ども会、ボランティア団体など地域の各種団体との連携を強化し、地域住民の利用促進を図るとともに、地域に開かれた事業を展開する。

⑦みやこ図書館白旗分館と白旗エリア子どもルームとの連携を強化し、複合施設としての利点が活かせるよう各種事業の工夫改善を図る。

（２）学習情報の効果的な提供に努める

①広報活動の推進と方法の工夫により、積極的な情報発信を図る。

②他機関や団体との連携の強化による学習情報の収集、活用、提供に努める。

（３）施設・設備の整備と有効活用を図る

①施設・設備の保守及び管理の徹底、迅速適切な修繕により、不具合や事故を防止する。

②青少年や市民等の生涯学習活動の成果発表の場として施設・設備が有効活用されるように利用者の立場に立った施設整備に努めるとともに、貸し出し方法の改善等利用者サービスの向上を図る。

③利用者への利用技術の伝達や指導の徹底を図る。

（４）災害時における利用者の安全を第一に、防災計画の強化を図る

①各種保守点検を確実に実施し、改善が必要な事項には適切に対処する。

②防災計画や災害発生時の対応マニュアルに基づく避難訓練を適切に実施し、災害時における利用者の安全を確保できるようにする。

③災害発生時の対応マニュアルに基づく避難誘導の徹底を図る。

（５）職員の資質向上を図り、社会教育施設として市民サービスの向上を図る。また、管理運営経費等の効果的な執行を心掛ける

①市民への信頼に応える明るく、親切、丁寧、迅速な対応を心掛ける。

②計画的な職員研修による職員のスキルアップを図る。

③社会教育施設の職員としての自覚と誇りを持ち、各種事業の実践にあたる。

④責任ある業務処理と風通しの良い明るい職場づくりを行う。

⑤光熱水費、消耗品費など必要経費の節減と効率的な執行を心掛ける。

２　事業の概要

事業名	主な内容	実施期間
施設貸出	ホール・講習室・録音室・レッスン室・視聴覚室・料理実習室等の貸出し	通年
わくわくカレッジ	青少年・一般を対象としたフラワーアレンジ・料理・ヨーガ等の講座	４月～３月の土曜日等
ゆめチャレンジ	施設利用青少年団体等による成果発表会	１月
舞台照明・音響講習会	青少年・一般を対象としたホールの照明・音響設備の操作講習会	随時
ときめきサタディ	在学青少年を対象としたフラワーアレンジ・お菓子づくり等の講座	４月～３月の土曜日等
サマーチャレンジ	小学生を対象とした工作教室	夏休み期間

３　年間利用状況（平成26年度　開館日数294日）

（１）主催事業

	在学青少年対象	青少年・一般対象		合　計
	講座関係	講座関係	育成関係	
実施回数	19	13	7	39
参加人数	275	282	911	1,468

（２）貸出事業

	青少年	一　般	教育関係	官公署	合　計
利用回数	1,040	2,213	118	108	3,479
利用人数	8,598	12,244	7,868	3,458	32,168

４　利用方法

（１）施設貸出

○期　間　通年（但し、月曜日・国民の祝日・年末年始を除く）

○時　間　午前９時から午後９時まで（但し、小・中学生については、午前９時から午後５時まで）

○対　象　市内在住・在勤・在学の青少年及び青少年団体並びに一般

○受　付　青少年は利用の１か月前から前日まで、一般は２週間前から前日まで
登録済みの団体（者）は電話による仮予約ができる

○利用料　無料

（２）主催事業

○市政だより、ホームページ、学校・官庁・関係機関等へ「ちらし」の配布、ポスター掲示等により募集する。

○申し込み受付は、来所、電話、往復ハガキで行い、受講者は、先着順または抽選により決定する。

○受講料は無料。但し、教材費相当額を参加者負担とする。

■公　民　館

「ゆとりと活力ある都市づくり」を目指す本市では、社会教育を含めた生涯学習の拠点施設として公民館を設置し、地域住民の多様化する学習ニーズに対応した学習機会を提供している。

生活文化の向上や住みよい地域社会づくりを推進するために次の施策を展開する。

①地域住民の連帯感や自治意識を醸成する。

②地域住民の学習要求や生活課題の解決を援助する。

１　公民館の設置概要

本市の公民館は、原則として１中学校区に１館を設置する方針で整備した。

２　事業の概要

公民館は、市民のだれもが、いつでも、どこでも生涯にわたり学べる学習機会を提供している。

ここでは、居住区の特性や社会教育課題の発見に努め、地域連帯の輪を広げるとともに、人と人との結びつきを強めていく各種事業を企画・実施している。

なお、主催事業や各種活動をまとめると、以下の通りである。

（１）少年教育事業

①少年教室・講座の実施

②親子教室、親と子のつどいの実施

（２）成人教育事業

①家庭教育学級・講座の実施

②女性学級、女性教室・講座の実施

③成人教室・講座の実施

④高齢者学級・教室の実施

（３）公民館クラブ、団体の育成

公民館の学級・講座から自主的にクラブを結成したり、地域の有志で組織したりしたクラブ等が、公民館を拠点に活動している。それらのクラブ、団体の自主的活動や文化祭等の援助をはじめ、地域の子ども会や公民館クラブ等の指導者講習会を開催し、育成に努めている。

（４）情報の提供

地域住民の自主的な社会教育活動を促進するため、市政だよりへの掲載や公民館だより等を発行し、学習機会や学習の場などに関する情報を提供している。

３　施設の利用状況

（１）年度別公民館利用状況（小数点以下四捨五入）

年　度	年間利用者人数(人)	日平均利用者人数(人)	利用回数(回)	日平均利用回数(回)
21 年度	1,236,779	3,445	97,616	272
22 年度	1,184,309	3,299	96,212	268
23 年度	1,173,183	3,259	96,944	269
24 年度	1,185,863	3,249	99,375	277
25 年度	1,140,861	3,178	97,281	271
26 年度	1,168,942	3,256	99,938	278

（２）公民館利用状況（平成 26 年度　開館日 359 日※）

（小数点以下四捨五入）

館　名	主催事業等参加者（人）	利用人数（人）	日平均（人）	延利用回数(回)
松ケ丘	1,777	33,294	93	2,613
生浜	1,581	21,901	61	2,054
新宿	2,163	31,372	87	3,370
宮崎	1,334	25,299	70	2,050
葛城	1,629	13,470	38	1,246
末広	2,081	17,003	47	1,614
椿森	1,469	12,045	34	1,080
川戸	571	15,760	44	1,400
星久喜	2,368	14,949	42	1,317
幕張	7,434	45,780	128	3,430
花園	5,706	41,392	115	2,978
犢橋	1,602	11,069	31	1,162
検見川	1,906	25,286	70	2,179
花見川	1,428	23,961	67	1,810
さつきが丘	1,230	16,191	45	1,108
こてはし台	2,167	19,091	53	1,656
長作	970	14,057	39	1,158
朝日ケ丘	1,719	19,011	53	1,653
幕張本郷	2,907	29,642	83	2,394
小中台	1,716	49,052	137	3,631
黒砂	2,341	39,663	110	3,802
轟	1,468	40,106	112	3,410
稲毛	454	31,082	87	2,100
千草台	2,715	17,072	48	2,621
草野	1,151	16,149	45	1,330
山王	1,801	17,884	50	1,492
都賀	599	13,768	38	1,065
緑が丘	1,147	17,520	49	1,466
千城台	5,662	55,701	155	4,410
更科	902	11,246	31	1,480
白井	1,030	19,516	54	2,250
加曽利	462	11,420	32	1,265
大宮	1,568	24,076	67	2,006
みつわ台	1,870	30,177	84	2,262
若松	673	18,907	53	1,643
桜木	1,903	22,680	63	2,306
誉田	2,567	40,359	112	3,157
椎名	1,783	12,634	35	1,285
土気	1,772	25,997	72	1,940
越智	1,460	16,367	46	1,805
おゆみ野	3,778	42,442	118	3,643
稲浜	2,540	42,109	117	3,801
幕張西	2,060	26,270	73	2,143
磯辺	1,039	15,021	42	1,356
幸町	2,032	22,307	62	2,271
高浜	2,904	22,911	64	1,848
打瀬	324	35,933	100	1,878
合　計	91,763	1,168,942	69	842,002

※松ケ丘、幕張、幕張本郷は修繕のため休館日あり。

４　公民館図書室資料の整備状況

（平成 26 年度）

館　名	蔵書(冊)	雑誌(誌)	新聞(紙)	蔵書中児童書数(冊)
生浜	18,007	9	1	7,618
幕張	21,199	12	1	7,886
検見川	27,922	8	1	11,216
さつきが丘	25,127	3	1	9,349
長作	22,846	8	1	9,955
朝日ケ丘	22,886	4	1	8,678
千草台	26,034	6	1	9,410
草野	24,131	3	1	9,266
山王	24,582	4	1	9,864
都賀	25,443	4	1	9,033
緑が丘	18,430	5	1	6,381
更科	17,080	9	1	7,556
大宮	24,631	1	3	8,258
みつわ台	24,777	6	1	9,305
若松	26,384	7	1	10,117
桜木	22,990	4	1	8,036
誉田	33,606	7	1	12,466
越智	19,283	5	1	7,832
幕張西	22,642	4	1	8,314
磯辺	22,545	6	1	11,912
幸町	50,803	6	1	17,464
合　計	521,348	121	23	199,916

５　公民館図書室の図書貸出状況、開館日数

（平成 26 年度）

館　名	図書			開館日数（日）
	一般	児童	合計	
生浜	23,189	15,774	38,963	346
幕張	59,333	35,344	94,677	344
検見川	36,055	26,036	62,091	343
さつきが丘	29,301	11,162	40,463	346
長作	12,445	6,523	18,968	346
朝日ケ丘	37,623	17,959	55,582	346
千草台	20,859	7,752	28,611	346
草野	22,800	12,484	35,284	346
山王	16,763	8,251	25,014	343
都賀	21,561	25,881	47,442	346
緑が丘	29,581	20,430	50,011	344
更科	6,609	3,569	10,178	346
大宮	15,895	5,833	21,728	346
みつわ台	52,088	31,074	83,162	346
若松	17,011	15,650	32,661	346
桜木	22,588	20,286	42,874	346
誉田	24,323	20,247	44,570	346
越智	14,289	4,425	18,714	346
幕張西	45,011	42,644	87,655	346
磯辺	19,575	12,063	31,638	346
幸町	38,579	17,017	55,596	343
合　計	565,478	360,404	925,882	

■図 書 館

1 図書館の概要

図書館は昭和 47 年の北部図書館（現稲毛図書館）の開館に始まり、現在、中央図書館を中核とし、地区図書館６館、分館７館及び公民館図書室 21 室を設置し、移動図書館（ステーション数 27）と併せて市内全域に図書館サービスを行っている。

＜図書館の特色＞

①だれもが、いつでも、どこでも気軽に利用できるように市内に 14 の図書館と 21 の公民館図書室を設置し、全てをオンラインで結び、貸出・返却等の業務のほか、資料情報の提供も行っている。
　また、市内の図書館間（公民館図書室を含む）にブックメールカーを週６日運行し、市内図書館の所蔵資料の共有化と有効利用を図り、市民への迅速な資料の提供に努めている。

②インターネットによる所蔵資料の蔵書検索サービス等を行い、幅広い情報提供に努めるとともに、平成 19 年４月よりインターネットを通した予約サービスを開始した。

③市民の高度なレファレンスに応えるため、中央図書館を核として調査・研究機能の充実に努めている。平成 19 年４月よりインターネットによるレファレンスサービスを開始した。

④市民の多岐多様なニーズに応えるため、中央図書館を核として、それぞれの図書館の機能、役割に沿った資料の体系的な収集、保存を行っている。

⑤図書館の利用に障害のある方へのサービスとして、対面音訳、自宅配本や郵送貸出等のサービスの充実に努めている。

⑥平成 16 年３月に「千葉市子ども読書活動推進計画」を策定し、また平成 23 年３月には「千葉市子ども読書活動推進計画（第２次）」を新たに策定し、より一層の子どもの読書活動の推進を図っている。

⑦平成 22 年３月に「千葉市図書館サービスプラン２０１０～きて、みて、発見！身近で頼れるみんなの図書館」を策定し、図書館サービスの充実に努めている。

⑧平成 26 年３月に「千葉市読書環境整備計画」を策定し、サービス拠点の整備、ＩＣＴの利活用、既存図書館の機能更新等、整備の方向性を示した。

⑨郷土資料のデジタル化事業により、平成 24 年度に広報映画など 118 本の映像資料をデジタル化し、平成 25 年度は、市民フォトちば全 150 冊と写真資料約３万枚をデジタル化した。また、平成 26 年３月には、映像資料（50 点）の貸出、図書館ホームページでの写真資料（100 点）の公開を開始した。

2 図書館資料の整備状況（平成 26 年度）

館名	図書			視聴覚資料					雑誌	新聞	紙芝居
	一般	児童	合計	ＣＤ	カセット	ビデオ	ＤＶＤ	ﾏｲｸﾛﾌｨﾙﾑ			
	冊	冊	冊	点	点	点	点	点	誌	紙	点
中央図書館	793,486	145,320	938,806	8,029	352	3,294	2,818	1,228	1,003	147	1,043
移動図書館	13,602	13,054	26,656	－	－	－	－	－	7	－	－
団体貸出	7,342	53,491	60,833	－	－	－	－	－	－	－	－
計	814,430	211,865	1,026,295	8,029	352	3,294	2,818	1,228	1,010	147	1,043
みやこ図書館	104,154	31,261	135,415	1,914	798	49	24	－	110	10	800
白旗分館	53,724	18,844	72,568	－	－	－	1	－	61	6	494
計	157,878	50,105	207,983	1,914	798	49	25	0	171	16	1,294
花見川図書館	110,641	27,643	138,284	2,182	3	66	23	－	136	9	605
花見川団地分館	44,875	16,787	61,662	－	－	－	1	－	62	5	153
計	155,516	44,430	199,946	2,182	3	66	24	0	198	14	758
稲毛図書館	119,947	33,060	153,007	2,533	441	66	18	0	138	10	308
若葉図書館	89,888	23,892	113,780	2,027	280	51	12	－	113	11	373
西都賀分館	52,344	19,404	71,748	－	－	－	1	－	55	6	164
泉分館	31,696	8,996	40,692	－	－	2	3	－	45	5	379
計	173,928	52,292	226,220	2,027	280	53	16	0	213	22	916
緑図書館	104,801	33,658	138,459	2,771	185	50	9	－	182	12	563
あすみが丘分館	50,151	19,036	69,187	－	－	3	2	－	64	9	582
土気図書室	16,529	12,061	28,590	－	－	－	－	－	14	－	204
計	171,481	64,755	236,236	2,771	185	53	11	0	260	21	1,349
美浜図書館	83,611	25,351	108,962	3,808	－	11	7	－	107	10	674
打瀬分館	48,704	18,277	66,981	－	－	－	1	－	90	10	462
計	132,315	43,628	175,943	3,808	0	11	8	0	197	20	1,136
合計	1,725,495	500,135	2,225,630	23,264	2,059	3,592	2,920	1,228	2,187	250	6,804

3　図書・視聴覚資料の貸出状況、開館日数（平成 26 年度）

館　名	図　書			視　聴　覚　資　料				開館日数
	一　般	児　童	合　計	ＣＤ	カセット	ビデオ	ＤＶＤ	
	冊	冊	冊	点	点	点	点	日
中央図書館	802,667	322,211	1,124,878	59,433	523	1,528	37,033	296
移動図書館	37,951	25,405	63,356	―	―	―	―	231
団体貸出	3	23,671	23,674	―	―	―	―	184
計	840,621	371,287	1,211,908	59,433	523	1,528	37,033	
みやこ図書館	142,991	61,649	204,640	7,108	274	43	598	292
白旗分館	108,893	60,951	169,844	3,296	25	179	769	278
計	251,884	122,600	374,484	10,404	299	222	1,367	
花見川図書館	101,369	38,128	139,497	6,733	8	16	473	291
花見川団地分館	99,723	24,505	124,228	2,225	2	54	709	278
計	201,092	62,633	263,725	8,958	10	70	1,182	
稲毛図書館	240,600	123,414	364,014	14,548	556	52	1,193	292
若葉図書館	132,839	43,803	176,642	9,974	189	74	494	292
西都賀分館	81,446	35,503	116,949	2,976	8	51	629	278
泉　分　館	29,395	12,694	42,089	294	2	1	81	278
計	243,680	92,000	335,680	13,244	199	126	1,204	
緑　図　書　館	243,333	148,277	391,610	14,121	171	96	1,237	292
あすみが丘分館	119,501	60,359	179,860	2,620	8	100	911	278
土気図書室	8,277	5,586	13,863	501	7	2	62	140
計	371,111	214,222	585,333	17,242	186	198	2,210	
美浜図書館	332,607	121,418	454,025	21,062	62	53	1,809	292
打瀬分館	205,037	111,031	316,068	4,581	4	36	814	278
計	537,644	232,449	770,093	25,643	66	89	2,623	
合　計	2,686,632	1,218,605	3,905,237	149,472	1,839	2,285	46,812	

4　千葉市図書館情報ネットワーク協議会

千葉市図書館情報ネットワーク協議会は、市内の公立図書館、大学図書館、研究機関等の図書室などが、館種を越えた相互協力を通じて、情報提供の推進と図書館サービスの向上を図ることを目的として平成６年１月に設立された。

平成 26 年度の加盟館は 26 館となっている。

総会、理事会、年２回の研修会及び機関紙の発行等の活動を行っている。

■文　化　財

郷土の歴史・文化への理解を深め、個性豊かな地域文化をはぐくむために、文化財の保存と活用の施策を進める。

≪文化財の調査研究≫

○文化財の実態把握と基礎調査の推進

○文化財台帳の整備

≪文化財の保護≫

○主要な文化財の指定・登録

○文化財の保全と管理の充実

○埋蔵文化財保護のための助成と指導

○史跡の公有化と環境整備の推進

○文化財保護体制の強化

≪文化財の公開と活用≫

○資料の公開・展示・収集・保管の充実、普及活動の拡充

・埋蔵文化財調査センター …… 埋蔵文化財

・加曽利貝塚博物館 …… 縄文貝塚資料

・郷土博物館 …… 歴史・民俗・美術工芸

1　文化財の保護と周知

市内に所在する史跡や建造物などの文化財について、関係諸機関等と協力して保護と周知に努め、郷土の文化財に対する市民の理解と愛護の心を培い、郷土意識の高揚を図る。

また、関係部局・機関との連携のもとに、市域に所在する埋蔵文化財が不法に破壊されたり、ゴミを投棄されたりすることのないよう保護に努める。

2　文化財の指定・登録

市内に所在する様々な文化財の実態把握に努め、市指定文化財の指定および市地域文化財の登録に向けた調査・検討を行う。

平成 26 年度は千葉市ゆかりの家・いなげ、黒砂分教場の記念碑について調査を実施し、平成 27 年 4 月に黒砂分教場の記念碑を市地域文化財に登録した。

また、平成 27 年 3 月に市内で日本刀の研究・制作を行っている松田周二氏が「日本刀の鍛錬」技術の保持者として千葉県無形文化財に指定された。

3　文化財の管理

○指定・登録文化財の管理

市内に所在する指定・登録文化財を現状の姿で永く後世に伝えるために、その実態を把握し、管理及び保存・整備についての助成を行うとともに、適切な指導を行う。

○史跡等の管理

月ノ木貝塚等の公有化して保存されている遺跡について、雑草の除去や不法投棄ゴミの撤去等を行い、景観および安全を保持するとともに、将来の整備・活用に向けて良好に保全する。

4　加曽利貝塚特別史跡指定に向けた取り組み

国指定史跡加曽利貝塚について、きわめて歴史的価値の高い遺跡であることから特別史跡の指定に向けた取り組みを行っている。平成 24 年度から 5 年間で、これまでの調査・研究の成果をまとめるとともに過去の出土資料を再度、整理・分析し、平成 28 年度に加曽利貝塚の全体像を示す総括的な報告書の刊行を予定している。

5　埋蔵文化財の保護と事前協議

開発事業に先立って、埋蔵文化財保護のために事業者と綿密に事前協議を行い、開発事業と埋蔵文化財の円滑な調整を図る。

（1）埋蔵文化財の所在の協議依頼‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 19 件

（内訳）埋蔵文化財有り ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 11 件

埋蔵文化財無し‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 8 件

（2）埋蔵文化財発掘の届出等

ア　発掘調査の届出・報告　　8 件

調査主体者	確認調査	確認･本調査	本調査	計
公益財団法人千葉市教育振興財団	0	1	1	2
生涯学習振興課文化財保護室	1	0	0	1
千葉市埋蔵文化財調査センター	4	0	1	5
合計	5	1	2	8

イ　土木工事等の届出・通知　　108 件

届出・通知者	発掘調査	工事立会	慎重工事	計
民間	7	6	89	102
公共	1	4	1	6
合計	8	10	90	108

6　郷土芸能保護事業の充実

（1）郷土芸能後継者養成事業

郷土芸能保存協会の加盟団体が通年で実施している神楽･囃子･獅子舞等の後継者養成事業に補助金を交付し、郷土芸能の保存・振興を図っている。

（2）郷土芸能用具補修事業

郷土芸能で使用している装束・面・太鼓等の貴重な用具を後世に伝えるため、用具の補修費の一部を助成している。

＜千葉市郷土芸能保存協会加盟団体＞

郷　土　芸　能　名	保　存　団　体　名	継　承　地	指定・登録
浅間神社の神楽	稲毛浅間神社神楽連	稲毛区稲毛	県指定
三代王神社の神楽	三代王神社神楽連(休会中)	花見川区武石町	市登録
作草部神社の神楽	作草部神社神楽連	稲毛区作草部	
登戸の神楽囃子	登渡神社登戸囃子連	中央区登戸	市登録
子安神社の神楽	畑町子安神社神楽連	花見川区畑町	
千葉神社の神楽	千葉神社神楽連	中央区院内	
八劔神社の神楽	八劔神社神楽連	中央区南生実町	市指定
大六天神社の囃子	貝塚大六天神社囃子連	若葉区貝塚町	
浜野の祭囃子	浜野祭囃子保存会	中央区浜野町	
矢作の囃子	矢作囃子保存会	中央区矢作町	
諏訪神社の囃子	都町諏訪神社囃子会	中央区都町	
検見川神社の神楽・祭囃子	検見川神社神楽囃子連	花見川区検見川町	市登録
大宮神社の囃子	大宮神社下長囃子会	若葉区大宮町	

■埋蔵文化財調査センター

発掘調査によって収集された多くの出土品や記録物の適切な保存と活用､埋蔵文化財の調査研究等を推進している。なお、発掘調査・文化財普及事業の一部については、公益財団法人千葉市教育振興財団が実施している。

市内各所の開発などに伴う埋蔵文化財･発掘調査による出土品及び図面・写真等の記録はセンターに納められ、保管される。保管資料については修復し台帳に登録して、教育・普及活動、市民の学習活動に活用できるよう保管体制の整備が進められている。

1　収蔵保管

○新収蔵資料

遺　跡　名	場　所	時　代　・　種　別	資　料
大膳野南貝塚	緑区おゆみ野中央	旧、縄、古、奈・平　集落跡	石器剥片、縄文土器、石器・石製品、骨角貝製品、土師器
米之内遺跡	花見川区犢橋町	縄、古、中・近　集落跡、古墳	縄文土器、石器、土師器、須恵器、陶磁器
東海道遺跡	稲毛区宮野木町	縄、古、奈・平、中　貝塚	土師器
へたの台貝塚	中央区仁戸名町	縄、古、奈・平、中・近 集落跡、貝塚	縄文土器、土師器、須恵器、鉄器、石製品

※旧=旧石器時代、縄=縄文時代、弥=弥生時代、古=古墳時代、奈=奈良時代、平=平安時代、中=中世、近=近世

2　文化財普及

（1）常設展示（館内）

埋蔵文化財の保護と活用、センターの業務内容についてパネルによって解説するとともに、千葉市の原始・古代から歴史時代に至る移り変わりを、これまでの発掘調査で発見された遺構や出土遺物、複製品・模型・解説パネル

などで、よりわかりやすく、視覚的に学習できるようにしている。

（2）速報展示（館内）

発掘調査等で発見された遺物・遺構の中で、歴史的価値の高いもの・稀少なもの・話題性に富むものなどを速やかに展示し、市民の学習に供するとともに、広く一般に公開する。

（3）埋蔵文化財ロビー巡回展

埋蔵文化財を通して千葉市の歴史を理解してもらうため､収蔵している埋蔵文化財を市内の各施設のロビー等で期間を決めて展示・公開している。

平成 26 年度は､『大膳野南貝塚』と題し、平成 26 年 11 月 12 日から平成 27 年２月 22 日にかけて、郷土博物館、ギャラリー・いなげ、埋蔵文化財調査センター、生涯学習センターの４施設で出土品やパネル等の展示を行った。

また、開催期間中に講座を生涯学習センターで３回実施した。

（4）ミニ企画展

各学校及び公共施設等の依頼により各施設などで、パネル・埋蔵文化財等を展示・公開し千葉市の歴史をわかりやすく説明する。

（5）出前授業

主に歴史教育の一環として小学校を中心に、滑石を使用した勾玉作り、火起こし、組紐作りや本物の土器・石器等に触れる体験を行うとともに、画像データなどを活用して埋蔵文化財の調査方法や周辺の遺跡、容器の歴史に関する講座を実施している。

（6）講師派遣

生涯学習センター・公民館・博物館等の施設での事業やその他各種団体による講演会等に講師を派遣している。

（7）資料貸出

小学校を対象に古墳時代の土器セット（甕・甑・杯など 10 点）の貸出を行っている。

（8）千葉市遺跡発表会

市内で実施した発掘調査の最新の成果を広く公開することを目的に開催している。

平成 26 年度は史跡加曽利貝塚の特別史跡指定に向け、加曽利貝塚再整理事業の成果を発表・展示するとともに平成 26 年３月に発掘調査報告書が刊行された大膳野南貝塚をテーマとしたシンポジウムを開催した。

３　埋蔵文化財調査

市内で現在周知されている遺跡は、1,336 か所である。開発事業に先立ち、事業者の協力を得て、発掘調査を行い、遺物の収集・記録による保存を行っており、調査によって出土した遺物や記録類については整理をし、報告書として刊行している。

埋蔵文化財調査センターでは、加曽利貝塚の特別史跡指定に向けた取り組みとして、平成 24 年度からの５年間でこれまでの調査・研究の成果をまとめるとともに過去の発掘調査での出土資料を再整理・分析し、平成 28 年度に報告書刊行を予定している。

平成 26 年度は公共事業に伴う５遺跡の発掘調査、５遺跡の整理・再整理を実施し、民間開発に伴う２遺跡の発掘調査、４遺跡の整理・報告書刊行を行った。

＜平成 26 年度埋蔵文化財調査＞

※旧＝旧石器時代、縄＝縄文時代、弥＝弥生時代、古＝古墳時代、奈＝奈良時代、平＝平安時代、中=中世、近＝近世

（1）発掘調査（公共事業）

遺　跡　名	場　所	発　掘　面　積	備　　考
加　曽　利　貝　塚	若葉区桜木	416 ㎡（確認調査）	縄、古　集落跡、貝塚
愛　　生　　遺　　跡	若葉区愛生町	372 ㎡（確認調査）	縄、中　集落跡、貝塚
木　戸　作　遺　跡	若葉区多部田町	6,400 ㎡（本調査）	縄、弥、古、奈・平　集落跡、古墳、塚
南　大　作　遺　跡	若葉区桜木	161 ㎡（確認調査）	縄、古、奈・平　包蔵地、貝塚
台　さ　ら　坊　遺　跡	若葉区桜木	424.5 ㎡（確認調査）	縄、古、奈・平　包蔵地、貝塚

（２）整理（公共事業）

遺跡名	場所	調査年度	備考
餅ヶ崎遺跡	若葉区源町	昭和 50～59 年度	旧、縄、弥、古、平、中　集落跡
加曽利貝塚	若葉区桜木	昭和 37～平成 26 年度	縄、古　集落跡、貝塚
広ヶ作遺跡	若葉区小倉町	昭和 56 年度	縄　集落跡、貝塚
駒込南遺跡	若葉区五十土町	昭和 55・59 年度	縄、古、奈・平　集落跡
駒込遺跡	若葉区五十土町	昭和 57・58 年度	縄、古、奈・平　集落跡

（３）発掘調査（民間事業）

遺跡名	場所	発掘面積	備考
東海道遺跡	稲毛区宮野木町	80 ㎡(本調査)	縄、古、奈・平　包蔵地、集落跡
へたの台貝塚	中央区仁戸名町	220.207 ㎡(本調査)	縄、古、奈・平、中・近　集落跡、貝塚

（４）整理（民間事業）

遺跡名	場所	調査年度	備考
大膳野南貝塚	緑区おゆみ野中央	平成 21～23 年度	旧、縄、弥、古、平、中　集落跡
米之内遺跡	花見川区犢橋町	平成 25 年度	縄、古、中、近　集落跡、古墳
東海道遺跡	稲毛区宮野木町	平成 26 年度	縄、古、奈・平、中　包蔵地、集落跡
へたの台貝塚	中央区仁戸名町	平成 26 年度	縄、古、奈・平、中・近　集落跡、貝塚

■千葉市の文化財一覧

１　指定・登録文化財件数

種類／区分	有形文化財							無形文化財	民俗文化財		記念物			伝建造物群	計
	建造物	彫刻	工芸品	絵画	書跡典籍古文書等	考古資料	歴史資料		有形	無形	史跡	名勝	天然記念物		
国(指定)											5		2		7
国(登録)	5														5
県(指定)	3	3	4	1	2	2		2		2	6		3		28
市(指定)	6	16	3	1	1	7	1			1	12	1			49
市(地域)					2		1			4	2				9
計	14	19	7	2	5	9	2	2		7	25	1	5		98

２　国指定文化財　７件

指定年度	文化財名	所有者	所在地
昭和 45 年度	加曽利貝塚	千葉市他	若葉区桜木 8-33 他
昭和 52 年度	月ノ木貝塚	千葉市他	中央区仁戸名町 299-1 他
昭和 53 年度	荒屋敷貝塚	千葉市他	若葉区貝塚町 726-1 他
昭和 56 年度	犢橋貝塚	千葉市	花見川区さつきが丘 1-18
昭和 62 年度	タンチョウ	千葉市	若葉区源町 280（動物公園内）
昭和 63 年度	オジロワシ	千葉市	若葉区源町 280（動物公園内）
平成 18 年度	花輪貝塚	法人	若葉区加曽利町 1041-1 他

3　国登録文化財　5件

登録年度	文　化　財　名	所有者・管理者	所　在　地
平成 9 年度	千葉市民ギャラリー・いなげ （旧神谷伝兵衛稲毛別荘）	千葉市	稲毛区稲毛 1-8-35
平成 9 年度	千葉トヨペット本社 （旧勧業銀行本店）	千葉トヨペット株式会社	美浜区稲毛海岸 4-5-1
平成 19 年度	千葉県水道局千葉高架水槽	千葉県水道局	中央区矢作町 670
平成 23 年度	大巌寺本堂	大巌寺	中央区大巌寺町 180-1
平成 23 年度	大巌寺書院	大巌寺	中央区大巌寺町 180-1

4　県指定文化財　28 件

指定年度	文　化　財　名	所　有　者	所　在　地
昭和 10 年度	千葉寺ノ公孫樹	千葉寺	中央区千葉寺町 161
昭和 18 年度	戸塚派楊心流流祖・二代墓	胤重寺	中央区市場町 10-11
昭和 28 年度	検見川の大賀蓮	東京大学緑地植物実験所	花見川区畑町 1051
昭和 29 年度	青木昆陽甘藷試作地	千葉市	花見川区幕張町 4-594-1
昭和 30 年度	半円方格帯神獣鏡	個人	
昭和 35 年度	長谷部貝塚	袖ヶ浦カンツリークラブ	緑区平山町 1204 外
昭和 37 年度	浅間神社の神楽	浅間神社神楽連	稲毛区稲毛 1-15
昭和 43 年度	房総数学文庫	千葉県立中央博物館	中央区青葉町 955-2
昭和 45 年度	木造十一面観音立像	天福寺	花見川区花島町 60
昭和 46 年度	大覚寺山古墳	千葉市	中央区生実町 1861-1 外
昭和 49 年度	焚鐘（宝徳元年在銘）	長徳寺	緑区富岡町 209
昭和 50 年度	千葉教会教会堂	日本キリスト教団千葉教会	中央区市場町 9-20
昭和 52 年度	旧四関家住宅	千葉市	若葉区御殿町 2538-11 外
昭和 53 年度	荻生道遺跡	個人	緑区小食土町 747 外（昭和の森公園内）
昭和 54 年度	東寺山貝塚	千葉市	若葉区みつわ台 1-18
昭和 57 年度	覚性御房御返事	立正安国会	中央区長洲 1-33-3
〃	鍔口（延文６年在銘）	本城寺	若葉区中野町 699-1
昭和 59 年度	木造伝七仏薬師坐像	東光院	緑区平山町 271
〃	木造薬師如来坐像	長徳寺	緑区富岡町 209
昭和 60 年度	金銅透彫六角釣燈籠	栄福寺	若葉区大宮町 3869
昭和 63 年度	旧鉄道聯隊材料廠煉瓦建築	千葉経済学園	稲毛区轟町 3-59-6
平成 5 年度	紙本著色千葉妙見大縁起絵巻	栄福寺	若葉区大宮町 3869
平成 15 年度	千葉寺経塚出土資料（一括）	千葉県（県立千葉高等学	中央区葛城 1-5-2
〃	下総三山の七年祭り	七年まつり保存会	千葉市・船橋市・八千代市
平成 19 年度	陶芸鉄絵銅彩	神谷紀雄(保持者)	
〃	袖ヶ浦市吉野田の清川層産出の 脊椎動物化石	千葉県立中央博物館	中央区若葉町 955-2
平成 20 年度	浅間山古墳石室出土遺物	〃	〃
平成 26 年度	日本刀の鍛錬	松田周二(保持者)	

5　市指定文化財　49 件

指定年度	文　化　財　名	所　有　者	所　在　地
昭和 34 年度	猪鼻場跡（含七天王塚）	千葉市・千葉大学	中央区亥鼻 1-24 外
〃	千葉神社	千葉神社	中央区院内 1-16-1
〃	千葉寺境内	千葉寺	中央区千葉寺町 161
〃	千葉氏累代の墓碑	大日寺	稲毛区轟町 2-1-27
〃	七廻塚古墳出土品（一括）	千葉市教育委員会	中央区南生実町 1210 （千葉市埋蔵文化財調査センター）
〃	武石の板碑	真蔵院	花見川区武石町 1-1413
昭和 35 年度	大日如来坐像	宝幢寺	花見川区幕張町 2-1003
〃	阿弥陀如来立像	宝幢寺	〃
〃	荒久古墳	千葉県	中央区青葉町 959（青葉の森公園内）
〃	稲毛の松林	千葉市・浅間神社	稲毛区稲毛 1-10-16 外
昭和 36 年度	薬師如来像	等覚寺	若葉区高品町 478
〃	月光菩薩像	等覚寺	〃
〃	公立千葉病院跡	千葉大学医学部	中央区中央 4 丁目

指定年度	文　化　財　名	所　有　者	所　在　地
昭和 36 年度	共立病院跡	千葉大学医学部	中央区院内 2-158（院内公園内）
昭和 37 年度	神楽・神楽書	八劔神社神楽連	中央区南生実町 885
昭和 38 年度	両界曼陀羅（胎蔵界、金剛界）	金光院	若葉区金親町 959
昭和 40 年度	五輪塔	来迎寺	稲毛区轟町 1-7-20
〃	梵鐘（康永３年在銘）	千葉市教育委員会	中央区亥鼻 1-6-1（千葉市立郷土博物館）
昭和 42 年度	森川家累代の墓碑	重俊院	中央区生実町 1156
〃	五日堂の五輪塔	本満寺	緑区誉田町 1-139
〃	伝千葉宗胤五輪塔	宗胤寺	中央区弁天 4-7-23
〃	小壁嵌板彫刻	登渡神社	中央区登戸町 3-3-8
〃	善光寺式観世音立像	東光院	緑区平山町 278
〃	銅板押出阿弥陀三尊像	東光院	〃
〃	恕閑塚	個人	緑区誉田町 2-11-3
〃	不受不施派関係古文書	本行寺	中央区浜野町 1252
昭和 49 年度	千眼神社の鰐口（天文 13 年在銘）	天満宮	中央区亥鼻 1-6-1（千葉市立郷土博物館）
〃	長沼の駒形大仏	長沼町内会	稲毛区長沼町（長沼駒形観音堂境内）
昭和 56 年度	千葉山	金蔵院	稲毛区園生町 444-1 外
〃	滑橋貝塚	個人	若葉区小倉町 1014 外
昭和 58 年度	民間航空資料	千葉市・登渡神社	美浜区高浜 7-2-1（稲毛民間航空記念館）
昭和 62 年度	木造妙見菩薩立像	栄福寺	若葉区大宮町 3869
〃	ジャジャシキの石造五輪塔	個人	緑区越智町 171
平成６ 年度	旧生浜町役場庁舎	千葉市	中央区浜野町 1290-3
平成７ 年度	旧川崎銀行千葉支店本館	千葉市	中央区中央 3-10-8
平成 11 年度	木造天部形立像２躯	東光院	緑区平山町 278
〃	木造阿弥陀如来坐像	福寿院	中央区川戸町 694
〃	木造勢至菩薩立像	泉蔵寺	緑区おゆみ野有吉 31-4
〃	木造釈迦如来坐像	仁守寺	中央区仁戸名町 194
平成 12 年度	木造阿弥陀如来立像	来迎寺	稲毛区轟町 1-7-20
〃	木造不動明王頭部	光明寺	中央区中央 4-5-6
〃	銅造千手観音菩薩坐像	胤重寺	中央区市場町 10-11
〃	木造阿弥陀如来立像	大覚寺	中央区生実町 1783
平成 13 年度	古瀬戸灰釉四耳壺	千葉市教育委員会	中央区亥鼻 1-6-1（千葉市立郷土博物館）
〃	常滑長頸壺	千葉市教育委員会	中央区亥鼻 1-6-1（千葉市立郷土博物館）
平成 16 年度	千葉御茶屋御殿跡	千葉市	若葉区御殿町 2549
平成 23 年度	内野第１遺跡出土人面付土版	千葉市教育委員会	中央区南生実町 1210 （千葉市埋蔵文化財調査センター）
平成 24 年度	五十石遺跡出土把手付中空円面硯 附　盤１点	千葉市教育委員会	中央区南生実町 1210 （千葉市埋蔵文化財調査センター）
平成 25 年度	中鹿子第２遺跡出土土偶	千葉市教育委員会	中央区南生実町 1210 （千葉市埋蔵文化財調査センター）

６　市地域文化財　９件

登録年度	文　化　財　名	所有者・保持者	所　在　地
平成 20 年度	平川町内会文書	千葉市緑区平川町内会	中央区亥鼻 1-6-1
〃	登戸の神楽囃子	登渡神社登戸囃子連	中央区登戸 3-3-8
平成 21 年度	遠近庵三市の追悼碑	宝蔵院	花見川区検見川町 1-5
〃	「開有富」の開墾碑	春日神社	花見川区作新台 5-14
〃	寒川神社の御浜下り	寒川神社氏子青年会	中央区寒川町 1-123
平成 22 年度	稲荷町有文書	稲荷神社	中央区稲荷町 2-8-30
〃	三代王神社の神楽	三代王神社神楽連	花見川区武石町 1-4
平成 25 年度	検見川神社の神楽・祭囃子	検見川神社神楽囃子連	花見川区検見川町 1 - 1
平成 27 年度	黒砂文教場の記念碑	黒砂第一自治会	稲毛区黒砂 4 丁目

■加曽利貝塚博物館

1　加曽利貝塚

国内に約 2,700 か所ある縄文時代の貝塚の中で、全長が 300ｍを超える最大級の規模を誇る貝塚として知られる。学術的な価値も高く、明治時代から著名な人類学者・考古学者によって発掘され、縄文時代の研究に欠くことのできない資料を数多く提供してきた。

現在、縄文時代中期を主体とする北貝塚、後期を主とする南貝塚とその周辺を含む約 13.4 万㎡が国の史跡に指定され、貝塚の保護を図るとともに、縄文時代の文化や暮らしに親しめる公園として公開・活用されている。公園内は縄文時代の植生に近い環境が復原・保全され、落葉広葉樹林を主とした緑が広がる。また、希少な動植物も生息しており、環境教育などへの活用も期待されている。

平成 24 年度からは加曽利貝塚の価値を高め、その重要性を広く知ってもらうため、特別史跡指定を目指した取り組みを進めている。

▲空からみた加曽利貝塚

2　博物館の特色

貝塚そのものを展示対象とする「野外博物館」を目指し、昭和 41 年に開館した。加曽利貝塚の出土資料を中心とした館内展示と合わせ、貝塚の内部を常に観覧できるように設置された野外施設や復原集落を見学することで、貝塚や縄文時代の暮らしや文化について体感的に学ぶことができる。

平成 15 年度にはボランティアの育成・活用を開始し、見学ガイドや体験活動の充実など、来館者が縄文時代について興味深く学ぶための支援を行っている。

3　野外施設の整備

博物館の設置と合わせて整備が進められた北貝塚では、発掘した住居跡や貝塚の断面をいつでも見学できる観覧施設が昭和 43 年に整備された。一方、南貝塚では、昭和 63 年度から遊歩道や説明板、復原集落などが整備されるとともに、新たに貝塚の断面を観覧できる施設が設置された。このため現在では、北・南両貝塚の時代の異なる貝層断面を比較して見学できるようになった。

北貝塚の住居跡群の観覧施設では、露出している貝層断面や遺構面の劣化が進んでいたが、新たな薬剤による保存処理やレーザークリーニングによる実験が行われ、現在は発掘当初に近い状態で見学できる。また、復原集落において、平成 27 年度に新たに１棟の復原住居の再建を行う予定であり、来館者が縄文時代の暮らしや文化を想像しながら見学できる環境の整備に努めている。

4　館内の展示

○常設展　テーマ「加曽利貝塚の世界」

平成 26 年８月１日から平成 27 年３月 31 日まで博物館の老朽化に伴う修繕による休館に合わせ、展示替えを実施した。

新しくなった展示　縄文人の「衣」

新しくなった展示　縄文人の「住」

5　事業の概要

＜平成 27 年度行事予定＞

	行　事	期　間　・　期　日	募集人員	内　容　ほ　か
展示	企画展「縄文時代の技と美」	平成 27 年８月１日(土) ～９月 27 日(日)	自由	縄文土器製作の第一人者、戸村正己氏の視点から縄文土器に込められた縄文人の技と心に迫る。
展示	第 38 回 縄文土器作品展	平成 28 年１月 27 日(水) ～２月 11 日(木)	自由	加曽利貝塚土器づくり同好会との共催事業。同好会の一年の活動やその成果を作品とともに展示。
	企画展「加曽利貝塚収蔵品展」	平成 28 年２月 16 日(火) ～３月 20 日(日)	自由	博物館が収蔵している市内の国指定史跡出土遺物や加曽利貝塚の再整理の成果など、普段目に触れない資料を展示。
教育普及	縄文時代研究講座	平成27年6月27日、7月25日、8月29日、9月26日、10月31日、11月28日、12月19日、1月27日、2月20日、3月26日(各土曜日)	自由	加曽利貝塚や縄文時代の魅力を知ってもらえるよう、最新の研究成果を題材とした講座を開催。全 10 回。
教育普及	加曽利貝塚縄文ひろば －夏休み縄文体験－	平成27年7月25日～8月30日の間の各土･日曜日 (8月15日･16日は除く)	自由	縄文時代の火おこしやアンギン編みなどを体験・学習。
教育普及	土器ドキ発掘体験	平成27年7月18日(土)・22日(水)・24日(金)・29日(水)・31日(金) 8月5日(水)・7日(金)・12日(水)	各回 10 人	発掘調査の疑似体験。自分で掘り出した出土品を洗って、調べるまでを体験。
教育普及	シルバーウィークイベント	平成27年9月19日(土)～23日(日)	自由	縄文時代の火おこしなどが体験できるほか、土器ドキ発掘体験などを開催。
教育普及	縄文ムラまつり	平成 27 年 11 月７日(土)・８日(日)	自由	縄文時代の火おこしなどが体験できるほか、土器づくり同好会による土器づくりの実演。
調査研究	自主研究　・東京湾岸における貝塚文化の研究 ・縄文土器の製作技術や用途の研究 委託研究　・加曽利貝塚出土獣骨の自然科学分析　東京大学総合研究博物館			
出版	・貝塚博物館紀要第 42 号　　発行部数 800 部　平成 28 年３月発行予定			

6　博物館の整備

博物館は昭和 41 年の開館からまもなく半世紀を迎える。施設の老朽化が進んでおり、平成 27 年度から将来的な博物館のあり方の検討に着手した。

■郷土博物館

中世の関東の豪族であった千葉氏の本拠地・千葉城（猪鼻城）とその城下町は、千葉常重が平安時代末期に市内に本拠地を移して以来、千葉氏の拠点として栄え、千葉市発展の基礎となった。

なかでも、常重の子常胤は源頼朝の挙兵に参加して大功があり、千葉氏は鎌倉幕府屈指の武士団に成長した。城を中心とする城下町も当時は鎌倉に次ぐ都市であったといわれている。

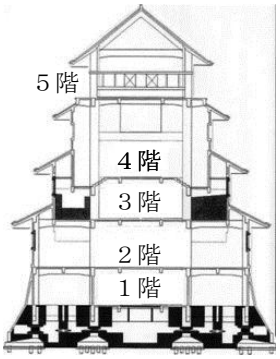
この城跡に、近世の小田原城を参考にして建てられた白亜の天守閣造りの郷土博物館は、歴史・民俗資料の展示を行っており、文化施設として市民に親しまれている。

改修工事を行った４階は､平成 22 年４月に｢近現代の千葉｣の展示室としてオープンした。

▲郷土博物館

１　施設及び展示内容

１階　原始・古代から現代までの歴史年表
　　千葉市の歴史のあれこれを紹介する導入展示のコーナー
２階　千葉市の歴史・民俗に関する展示
３階　千葉氏の興亡と妙見信仰
４階　近現代の千葉市
５階　展望室（展示室）



２　入館状況（平成 26 年度）

年度	開館日数	大　人		小・中学生		観覧料免除者	合　計
		個人	団体	個人	団体		
26	298	人 24,128	人 540	人 3,670	人 550	人 8,130	人 37,018

３　展示事業（平成 27 年度）

事　業　名	期　日　等	内　容　・　目　的　等
特別展「資料に見る千葉氏－史実と伝承－」	平成 27 年 11 月 17 日(火)～ 平成 28 年２月 21 日(日)	千葉氏の祖といわれる平良文から小田原城合戦までの千葉氏の史実と伝承に関係する資料の展示・解説。
企画展「観光千葉市」	平成 27 年８月 25 日(火)～ 11 月 15 日(日)	明治大正昭和期の千葉市の観光地について、当時の観光パンフレット・ガイド・絵葉書等を展示・解説。

４　教育普及事業（平成 27 年度）

事　業　名	期　日　等	内　容　・　目　的　等
歴史講座	平成 27 年 12 月（３回）	千葉市を中心とした歴史について解りやすく解説。
ふるさと講座	平成 28 年３月（３回） うち１回はバス見学会	千葉の歴史や文化を理解するため、歴史・民俗についての講演と見学会を開催。
鎧やむかしの着物の着用体験	平成 27 年４月～28 年３月 (10 回) 毎月第２土曜日	中世の鎧や小袖、桂（いずれも複製）などの着用体験により、日本の歴史に親しむ。
夏休み小･中学生郷土史講座	平成 27 年８月（２回）	夏休み中に小・中学生とその保護者を対象に縄文時代の石器使用などの体験や鎧等の着用体験などで歴史に親しみ、千葉の歴史や文化への理解を深める。
鎧作り体験講座	平成 27 年７月（３回）	小学生に昔の鎧の複製をボール紙で作り、歴史理解とものづくりを体験。
歴史散歩	平成 27 年10月	郷土博物館周辺の文化財の見学会を行い、千葉市の歴史や文化への理解を深める。

５　資料収集保管事業

展示・研究に必要な資料の収集・保管（平成 26 年度までの収集点数）

歴　史	民　俗	書　籍	科学等	美　術	合　計
5,127 点	6,797 点	16,239 点	143 点	221 点	28,527 点

６　調査研究事業（平成 27 年度）

事　業　名	調　査　内　容
千葉市民俗調査	高齢者からの聞きとり調査を中心にして、失われていく昔の生活の様子等に関する資料を収集する。
千葉市関係文書調査	千葉市の歴史にかかわる資料を調査する。

７　市史編さん事業（平成 27 年度）

事　業　名		事　業　内　容	
史料調査収集事業		市内の歴史資料の調査・収集・整理	
市史等の刊行		『千葉いまむかし』29 号の発行（千葉市史・市史史料編を補完する論文、史料紹介など）	
市史普及事業		対象・回数	事　業　内　容
	市史研究講座	市民・２回	千葉市史等をもとに市域内の歴史的事柄を解説する。テーマ：千葉市の歴史を学ぶ
	初級古文書講座（午前・午後）	市民・各６回	古文書の講読を通して江戸時代の郷土を理解する。テーマ：江戸時代の村の古文書を読む
	中級古文書講座	市民・６回	古文書の読解力・文章把握力を高める。

■千葉市科学館

千葉中央第六地区市街地再開発事業における公共公営施設のひとつとして、千葉市科学館が開館した。この科学館は、常設展示、プラネタリウム投影、ワークショップ、講座を通して、青少年の創造力の涵養、並びに市民文化の向上を目的に、千葉市の科学の拠点を目指し設置するもので、“参加体験型科学館”を目指し、幅広い年齢層に対応する施設を目指すものである。

１　施設の概要

（１）開 館 日　　平成 19 年 10 月 20 日
（２）住　　所　　千葉市中央区中央 4-5-1
　　Qiball（きぼーる）内
（３）施設構成　　常設展示室、企画展示室、
　　プラネタリウム室
（４）延床面積　　約 13,000 ㎡(複合ビルの７～10 階他)
（５）開館時間　　９：00～19：00
　　(プラネタリウム最終投影は 19:00～)
（６）休 館 日　　年末年始、施設の保守点検日
（７）駐 車 場　　大型バス４台、自家用車は隣接駐車場を利用（有料）
（７）交　　通　　モノレール葭川公園下車徒歩５分

▲千葉市科学館（Qiball（きぼーる）7～10 階）

２　運営の特色

運営コンセプトに“人が主役”“来館者との体験の共有”の２つのキーワードを設定している。各展示エリアには、展示品に加えスタッフやボランティア等、人を介した探究の場を設けている。

また、利用者が実際に手を触れながら学べる展示物や展示内容をさらに深めることのできる情報端末を全展示エリアに配置している。

３　常設展示室の構成

８階より 10 階までの３フロアが常設展示室で、140 の展示物とワークショップの場を設定している。

８階は“ワンダータウン”といい、光・音・錯視・数学等身の回りの不思議な科学を扱い、諸室として科学実験室・講義室を設けている。

９階は“テクノタウン”といい、電気・工学メディア・先端技術等技術とものづくりをテーマとしている。諸室としては、科学工作室がある。

10 階は“ジオタウン”で、地球や宇宙、環境等を扱っており、探究実験室、JAXA コーナー、気象協会オンラインデータ等が設置されている。

４　プラネタリウム

Qiball（きぼーる）のシンボルマークである球体で、直径 23mのドームに 200 の座席を配置し、投影機は光学式投影機とプロジェクターによる最新ハイブリッド型を採用している。星空の美しさ、特に天の川の精緻な描写、また星空の説明案内においてもデジタル技術が盛り込まれたものである。

生解説に全天周映像番組等を織り交ぜながら、幅広い年齢層に対応した番組を投影することとしている。